

上閉伊地域復興住宅協議会の現状と課題

2013/11/11

上閉伊地域復興住宅協議会資料

I 現状（概要）

平成 23 年 11 月の協議会設立以来、住宅基本プランの企画、組織体制の検討、会員の拡充、スクラムかみへい住宅の普及宣伝に取り組んできた。

現在、実際に住宅受注を推進する段階になっている。8 月から 9 月にかけて開催した完成住宅見学会には 10 日間で 240 組 600 人の来場者があり、好評を得た。回収されたアンケート 206 枚の集計では 66%の方がスクラムかみへい住宅を検討すると回答された。

現在具体的に進んでいる案件は、10 月末で完成引渡済み 1 件、設計施工段階 7 件、相談段階 8 件となっている。

震災からの復興事業が本格化しつつあり、建設作業員・資材の不足と単価高騰が起き、30 坪 1 千万円（33 万円／坪）を基本に企画したプランの見直しを迫られている。

協議会組織

名称 上閉伊地域復興住宅協議会（任意団体）

会長 柏館旨緒（岩手県建築士会釜石支部長）

会員 原則、上閉伊地域（釜石市・遠野市・大槌町＝旧上閉伊郡）の林業・木材・住宅産業関係事業者及び団体

会員数 54 事業所（平成 25 年 10 月末現在）

うち建築 28 事業者

林業・木材関係 13 事業者

設計 5 事業者

顧問 JAPIC 森林再生事業化委員長 米田 雅子 など

II 課題

組織事務局の体制強化 専任事務局体制が無いと、活動の推進力が弱い。受注窓口が個々の事業者であることから営業力が弱い
⇒専任事務局雇用のための自主財源確保（補助金では一時的）

設計・施工事業者の拡大 復興公共事業等の拡大と住宅自力再建が重なり、設計・施工事業者の不足が生じている。住宅再建用地の造成工事が終了する数年後には深刻な状況になると見込まれる。

⇒地域内の設計・施工事業者の加入推進

⇒会員建築事業者相互の連携・応援体制づくり

⇒岩手県内内陸部の建築事業者の取り込み

Ⅲ 経過

年 月	経 過
平成 21 年～	釜石市産木材活用懇話会設置（釜石市主催）
平成 23 年 3 月 11 日	東日本大震災発生
平成 23 年夏	遠野市・JAPIC 森林再生事業化委員会から釜石市に対し、震災被災者の住宅再建を地元の力で進めましょうと呼びかけ。事業化スキーム協議開始。
平成 23 年 11 月 1 日	上閉伊地域林業・木材・住宅産業振興協議会設立 住宅基本プラン企画作業・地域材活用スキーム作業開始
平成 24 年 2 月	上閉伊地域復興住宅協議会に名称変更
平成 24 年 3 月	岩手県復興住宅推進協議会加盟
平成 24 年度	釜石市・遠野市・大槌町からの補助金、林野庁地域型住宅づくり支援事業の補助金、さらに NPO 法人建築技術支援協会からの支援を受け、住宅基本プラン企画作業を推進。 建築事業者、建材取扱事業者への協議会の周知活動を展開。協議会入会を推進。 住宅基本プラン完成に合わせ、PR 活動開始。リーフレット、パンフレット、スタッフジャンパー等準備。
平成 25 年 3 月	スクラムかみへい住宅の第 1 号住宅着工
平成 25 年 7 月	スクラムかみへい住宅の第 1 号住宅完成
平成 25 年 8 月～9 月	住宅完成見学会開催 10 日間で 240 組 600 人来場
平成 25 年 8 月	最近の作業員人件費、建設資材高騰を受け企画部において基本プラン 6 タイプの標準価格見直し着手を決定。作業に着手
平成 25 年 9 月	県補助を受け、住宅相談員雇用し移動相談会開催（実施中）
平成 25 年 10 月	スクラムかみへい住宅の第 2 号・第 3 号住宅着工





原木の切り出し

地元の山林から用途に適した木材を熟練した作業員が伐採します

地場の木材で建てた家は長く使えます

木を使うことが山林の再生につながります



主要木材は地域内で加工生産

伐採された木材は、製材・乾燥の工程を経て、設計に従い精密刻み加工(プレカット)が施され、建築現場で一気に組み立てられます。スクラムかみへい住宅は工程すべてを釜石・大槌・遠野の上閉伊の地域内で行います。

岩手県地域型住宅推進協議会グループ

上閉伊地域復興住宅協議会



基礎工事

地盤調査の結果から適切な基礎を設計。
基本プランではユニット鉄筋(工場制作品)を利用することで工期の短縮と職人不足による問題点を解消します。



耐震補強金物

耐震性能を満足する為には、木材同士を適切な補強金物で接合することが重要です。
補強金物には大地震の際に柱が梁材から抜ける被害を防ぐ役割があります。



岩手県地域型住宅推進協議会グループ

上閉伊地域復興住宅協議会



スクラムかみへい住宅



記念プレート

住宅完成を記念して地域木材で作成した記念プレートを贈呈させていただきます

施主様のお名前と完成時期、建築番号、設計事務所、工務店をレーザー彫刻いたします



外壁

外装は窯業系サイディングを基本にお客様の希望により材質、色等を決定させていただきます



岩手県地域型住宅推進協議会グループ

上閉伊地域復興住宅協議会

自由設計 豊富なバリエーション

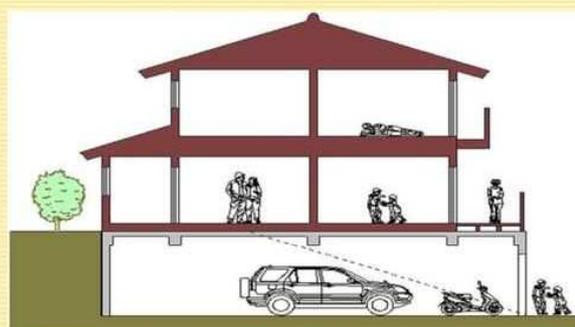
2間×2間の軸組み構造(スケルトン)を基本に設計されているので、壁間仕切り(インフィル)を自由に配置できます。基本プランにとられない部屋配置も可能です。また、将来の増改築にも容易に対応します。



立地条件に合わせた柔軟設計

地域の気候風土、立地条件を知り尽くした住宅のプロが設計から建築まで、皆様の生活再建・幸福な空間創り「復幸」を考えた住宅を提供します。

基本のプランをベースに、ガレージを兼ねたRC高基礎プランや長期優良住宅仕様など、お客様のご希望と地域条件に合わせたプランをご提案します。



豊富なオプション設備

木質バイオマスや太陽エネルギー等の再生可能エネルギー活用設備や省エネ対応型設備の活用もできます。

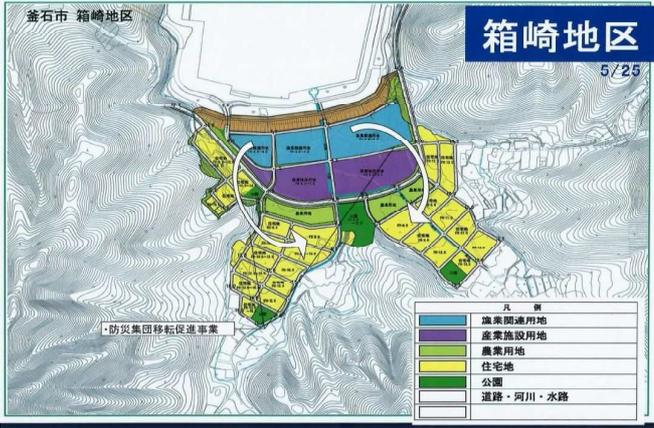
お気軽にご相談ください。



岩手県地域型住宅推進協議会グループ

上閉伊地域復興住宅協議会

釜石市の復興計画（箱崎地区）



釜石市復興計画資料より



右上：平成25年 3月撮影

右下：平成25年11月撮影

釜石市の復興計画（鵜住居地区）



釜石市復興計画資料より



右上：平成25年 3月撮影

右下：平成25年11月撮影

釜石市の復興計画（桑ノ浜地区）



釜石市復興計画資料より

防潮堤の嵩上げ検討 右上：平成25年 3月撮影 右下：平成25年11月撮影



釜石市の復興計画（浜町・東前町）

浜町・東前町かさ上げ範囲(案)



釜石市復興計画資料より

右上：平成25年 3月撮影

右下：平成25年11月撮影

